



令和3年度学校だより5月号

東の風光る

歴史と文教の城下町 たかなべ

高鍋町立高鍋東中学校

Municipal Takanahe East Junior High School

自立の精神に燃え、広く敬愛する心を持ち、たくましい創造力を発揮する生徒の育成



八十八夜

もうすぐ初夏を迎える時期。茶摘みの季節でもあり、八十八夜に摘んだ茶葉は、長寿の葉とも言われたそうです。高鍋東中生には大いに心身ともに健康に過ごしてほしいものです。



本校の伝統を守り、発展していく・・・

「正姿黙想」、「無言清掃」、「目立て」は、本校の3つの伝統活動となっています。本校卒業生たちも誇りとする活動だと思います。生徒たち一人一人がその意義をしっかりとつかみ、自ら率先して取り組んでほしいと思います。

また、「気品と風格のある学校」と本校体育館に大きく掲示してあります。これについてどれだけ私たち教職員も含め生徒たちも意識していくか。なかなか大人でも難しいことです。内面から自ずと外見ににじみ出るものではないかと思うところです。難しいからこそ先輩たちが歩んだ道をしっかりと引き継ぎ、取り組んでいきたいと思うところです。

本校に赴任して本当に感心することは、トイレのスリッパがほとんどきれいに並んでいることです。ちょっとしたことかもしれませんがなかなか他の学校ではできていないことです。新しく赴任したから分かる素晴らしい本校の伝統が成せる技ではないかと思います。

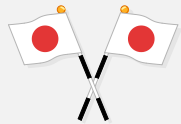


聖火リレー応援演奏

4月25日、オリンピック聖火リレーが高鍋の街を走りましたが、本校正門前では、吹奏楽部部員が、晴天のもと盛大に演奏をして盛り上げてくれました。

生徒たちにとってもいい思い出になったことと思います。

祝日の意義について



コロナ禍ではありますが、大型連休が始まります。ここで「祝日」意義を振り返りたいと思います。国民の祝日とは、「国民こぞって祝い、感謝し、または記念する日」と法律にあります。昭和の日、憲法記念日、みどりの日、こどもの日など、その趣旨を理解して計画的に有意義な過ごし方をしてほしいと思います。

昭和の日・・・60有余年に及ぶ昭和の時代は、我が国の歴史上、未曾有の激動と変革、苦難と復興の時代でした。今日我々がある平和と繁栄の日本は、このような時代の礎の上に築かれたものです。昭和の時代に天皇誕生日として広く国民に親しまれた4月29日を昭和を記念する日として祝日とすることとなりました。

印象に残った言葉から・・・

親という字は「立」「木」「見」からなり、子どもを見る時は「よく見えるところに立て。それでも見えない時は、木に登り、さらにその上に立って見ろ」という意味があるそうです。つまり、親は親という字のもつ意味を十分に理解し、常に子どもを一段高いところから眺め、親の親たる役割を機を失することなく果たせということでしょうか。

「遠くより眺むればこそ白衣の富士も富士なり筑波嶺もまた」という歌があります。この歌も「親」と同じような意味があると思います。いったん山の中に入り込んでしまうと、富士山とも筑波山とも区別がつかなくなります。しかし、少し離れたところから見ると山の区別がつかし、その山の美しさや良さがしっかり分かるのです。

例えば、子育てで、いつも親子が望ましい距離をもたず、べったりで生活していると、子どもの長所も短所も見分けがつかず、その子どもの成長を見失うことになりがちです。子どもの成長に応じ適切な距離をもつことが、成長を正しく見届けることになるし、立派な子育てになるということだと思います。

学校でも、教師が「子どもの友達・・・」になっていないか。ややもすると友達として行動できることが、よい教師の条件だと思われていないか。これではメダカの学校の「誰が生徒か先生か」と同じであって、教師はあくまでも指導者であって子どもの友達ではありません。

「教師の仕事は、水車と同じである」と言われます。教師である水車が、水の流れである子どもにどっぷりつかっても反対に水から出てしまっても全然回らない。つまり教師は、子どもと離れても埋没してもいけないという意味です。

子どもが成長していく過程での様々な課題に適切に対応していくためには、常にアンテナを高くして、一人一人の理解に努め、確かな学力や豊かな人間性を育てたいと思います。また努めていかなければならないと考えます。

そのためにも親も教職員も連携して、中学生である子どもの姿を常に一段高いところからじっくり眺め、優しい目と率先垂範する姿で指導していければと思います。



令和3年度本校教職員です。よろしくお願いいたします！！

【後記】4月はいつもそうなのですが、めまぐるしく怒濤の日々でした。もちろん生徒たちもそうだと思います。5月からはじっくりと文武両道に励めるのではと思います！（校長）